

know (≠No) More Cancer

11th

Cancer Information Navigator

CIN Cancer
Information
Navigator

がん情報ナビゲーター

養成講座第11期生募集要綱・実施要綱

2015年7月9日(木) 開講

申込期間：2015年5月7日(木)～12月10日(木)

受講期間：2015年7月9日(木)～2016年2月3日(水)

プログラムアドバイザー

西條 長宏 特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 (JSMO) 特別顧問

この講座を運営する団体

NPO法人キャンサーネットジャパンとは



キャンサーネットジャパンは、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信サービスの提供を目指すことをミッション(使命)とし、がん体験者・家族・遺族、その支援者、そして医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会の実現をビジョンとし活動を続けてきました。

その理由は、がんと診断された患者・家族は、氾濫するがん医療情報の中、医療提供者と受益者間で情報の非対称性の大きいがん医療において、科学的根拠に基づく、正しい情報にたどり着く事が困難であり、医療提供者と受益者(患者・家族)の間に立ち、受益者擁護の立場から、情報発信する必要性があったからです。キャンサーネットジャパンは今後も、がん患者や家族、また医療にかかわるあらゆる人々へ情報を発信し続けてまいります。

NPO 法人キャンサーネットジャパン

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2F

TEL: 03-5840-6072 FAX: 03-5840-6073

問い合わせメール: cinbec@cancernet.jp

がん情報ナビゲーター養成講座 総監修

目次



西條 長宏 先生

特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 (JSMO) 特別顧問

1968年大阪大学医学部卒、大阪大学第3内科で研修後、72年国立がんセンター外来部医員、78年病棟部医長、89年研究所薬効試験部部长、97年病院内科部部长、01年JCOG代表者、03年より北里大学医学部客員教授、04年国立がんセンター東病院副院長、07年がんプロフェッショナル養成プラン選考委員会委員、09年近畿大学特任教授、WJGOG顧問などを務める。ASCO 理事、ESMO 国際代表者会議委員をはじめ日本癌学会、日本癌治療学会、日本肺癌学会の理事を歴任。日本臨床腫瘍学会を創設、02～09年の7年間理事長を務め、12年4月より現職に至る。

01. 講座概要	……3p
02. 受講期間	……3p
03. FAQ よくある質問	……3p
04. 受講者の声	……4p
05. 開講の背景	……5p
06. 開講の目的	……7p
07. 受講資格	……7p
08. 受講料	……8p
09. 申込期間	……8p
10. 受講の手続き	……8p
11. 受講の方法	……9p
12. 修了要件	……9p
13. 認定試験概要	……9p
14. 認定の継続要件等	……10p
15. 認定後の活動	……11p

01. 講座の概要

インターネット環境があれば「いつでも」、「どこでも」、「最新のがん医療情報」を学べる eラーニング・システムを用いた、「日本を代表する講師陣」による、全 20 科目（各 60 分）の講座です。

講義は、各領域を代表する講師陣により、がんの病態生理、がん医療が行われる上で知っておくべき各種規定、EBM とガイドライン、主たるがん種の診断・治療、インターネットを用いたがん医療情報の収集などで構成されています。

02. 受講期間

全受講期間は、**2015 年 7 月 9 日（木）～2016 年 2 月 3 日（水）**です。カリキュラムにある各講義の web 公開日以降、2月9日までの期間はいつでも視聴が可能です。この期間を過ぎますと視聴及び資料ダウンロードはできませんのでご注意ください。

03. FAQ よくある質問

Q1. がん情報ナビゲーター養成講座とはどんな講座ですか？

2007 年 6 月閣議決定された「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等が、一体となつてがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すこととする。」と言及されています。

異なる立場の方々が共同し、この目的を達成するためには、がんに対する一般的知識、その他がん医療情報に関する知識、及び最新の情報にアクセスするスキルは最低限の必要条件になります。この講座では、これら異なる立場の方々が、それぞれの立場でがん医療に関与するための「がん医療情報」に特化した養成講座です。

Q2. どのような方が受講されていますか？

2007 年 4 月より 1 期～10 期で様々な立場の方々に受講して頂きました。

- ・ がん診療を行う医療機関、がん診療連携拠点病院などで患者・家族相談にあたる方々
- ・ がん診療を行う医療機関に勤務する医療者の方々（看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなど）
- ・ がん患者会・サロン等でピア（体験者）の立場として患者相談などの活動をされている方々
- ・ がん患者（がん体験者）を持つ家族・遺族で、今後がん医療に関りを持ちたいと考える方々
- ・ 製薬企業で営業・開発・教育研修を担当している方々
- ・ 生命保険会社関連などの民間企業で、カスタマーサービス等を担当している方々
- ・ 医療、社会保障、科学等を担当する（興味を持つ）ジャーナリストの方々

Q3. 認定者・修了者は、どのような形で活動されていますか？

受講生のほとんどは仕事を持ちながら、本養成講座を受講され、修了・認定後はご自身の仕事の中で、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。今後は、Q1の説明にもあるように、病院や公的機関だけでなく、民間企業等様々なところで、がん医療情報の基礎的知識を有する人材のニーズが高まると思われれます。

04. 受講生の声



服部 文
第8期認定者
キャリアカウンセラー

私はキャリアカウンセラーとして、がん患者さんの就労支援の活動をしております。医療従事者ではなくても支援者として正しいがんの知識は必須であろうと考え、「がん情報ナビゲーター」を受講しました。

がんという大きな出来事に直面した時、自分で納得できる人生を選択するためには正しい情報が欠かせません。しかし、診断による大きな衝撃でがんと向き合うことを避けてしまったり、不満を持ちながらも医療従事者にすべてを委ねる受け身の姿勢であったりすることも決して少なくありません。その傾向には相談を受ける中でも気づいていましたが、先日あるフォーラム開催の事前アンケートの自由記述欄を読み進めることで確信しました。そこで浮き彫りになったのは、基本的な知識を身に付けていないがために巷にあふれる情報の渦にのまれ不安の中で孤立する患者さんの姿でした。

CINの講座では、がん治療の基本的知識、がん種別の詳細情報のみならず、国としての取り組みの現状や動向、情報の取り扱い方、精神面のサポートや緩和ケアなど、がんにおけるさまざまなシーンに応じた知識を体系的・構造的に学ぶことができます。また、ベースとなる知識があるからこそ、その後の情報のブラッシュアップも容易です。がん患者さんの支援者としては欠かせない講座だと実感しています。



賢見 卓也
第7期認定者
看護師・
NPO法人がんと暮らしを考える会
理事長

まず私の肩書を見て、看護師でもCIN養成講座を受講する必要があるのかという疑問の声があがるのではないかと思います。正直に申し上げますと、実は看護師であっても、がん医療の全般的な状況を把握することは難しいのです。それほど、がんに関連した分野は広く内容は深いのが現状です。そのため、医療従事者は自分の仕事に必要な情報を中心に学習と経験を蓄積していきます。

私の場合は、在宅緩和ケアの分野に根差しているため、新しい治療・その考え方・副作用あるいは予防医学に関する情報を得るには、この講座での学びはとても役立ちました。

このような学びやCNJでの活動を通して、医療従事者目線や患者目線など区別した見方をせず、自分が罹患したときのことを考えた「生活者目線」で考えられるようになり、現在はNPO法人がんと暮らしを考える会を設立し活動しています。ここでは、「がん罹患による困り」と「公的・民間の制度」や「お金」の問題を、社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー・税理士などと一緒に解決しようと取り組んでいます。

今ではCIN養成講座を企画してくださった方々の思いや、熱心に講義をしてくださった先生方の思いは、私の活動の礎となっていると感じます。



前原 克章

第6期認定者

会社員・がん患者家族

現在、私は38歳。実父が34歳の時、がんを患い、2度の手術、現在は幸運にも無再発・経過観察中です。仕事面では、32歳のとき、“がん医療”に対して、新組織の立ち上げとチームリーダーを拝命しました。私の猛勉強の始まりだったわけですが、膨大な書籍・ネット情報から、最適なテキストを見つけるまでに、多くの時間を要しました。そんなとき、CIN養成講座があることを、偶然にもインターネットで知り、受講に至りました。

日々、勉強を重ねるにつれ、想像を遥かに超える告知から治療の苦しさ、医療費、日本全体の社会基盤が発展途上にあることなど、多くを実感しました。そして、十分に考えたことは、“科学的根拠”・“正しい情報”を知って、活動する、発信すること。

CIN受講後は、家族、会社の同僚本人やご家族などからの問い合わせに対応しています。必ずお伝えすることは、間違った情報を排除すること、早期受診。多くの方々が、間違った情報を信じ、効果があるのかと尋ねてきますが、明確な理由とともに否定しています。

最後に、がん医療に携わる者としての正しい自覚とさらなる研鑽を積み、人々の<不>を打開できるCINでありたいと思っています。



浪瀬 耕造

第8期認定者

がん患者遺族

私は平成24年5月に妻を卵巣がんで亡くしました。約1年間の闘病生活でしたが、がん発覚当初は氾濫する情報に混乱し、病院の治療を拒否し各種療法に走りました。

妻が亡くなってから思ったことは、これからの自分や家族、知人のために「がん」をもっと知りたい、「正しい情報」に早く辿り着きたい、できれば今がんで辛い想いをしている人の支えになりたいとCINを受講しました。

CIN講座は私の様に医療知識の無い者でもWebsiteで繰り返し確認できるので理解できたし、妻の治療方針もあれで良かったのだ!と納得できました。なによりも、「正しい情報」って何?どうすれば出会えるの?が分かりました。但し、常に最新情報を把握しておく必要があります。

CIN講座を受講したことによりCNJを通して多くの患者、医療者、支援者と知り合うことができ、皆さん「がん」に真摯に向き合っていることに感銘を受けています。特に患者さん達の「がんであっても自分らしく輝いている姿」を見て私の方が元気、勇気をもらっています。

これからもセミナー、イベント等に参加し更に知識を深めるとともに、辛い想いをしている人の友達、仲間になって支えの輪を広げて行きたいと思っています。

05. 開講の背景

(1) 日本におけるがん医療環境と現状

直近の統計では、日本におけるがん罹患全国推計値は80万5,236例(2010年)、また死亡者数は36万4,872人(2013年)となっており、今後も増加が予測されています。

一方、欧米、特に米国においては官民一体となった早期診断・早期治療の普及・啓発、臨床試験の普及・啓発・実施、それらから得られる標準的治療の普及により、死亡率に歯止めがかかり、乳がんなど特定のがん種においては、死亡率の低下を達成しています。

日本におけるこのような現状は、様々な要因に起因すると考えられますが、医療者向けのがん情報、国民・患者向けのがん情報を提供・共有するシステム構築の遅れが大きな要因の一つと考えられています。

(2) 近年のがん医療の変化

このような状況を鑑み、国家レベルの取り組みとしては、厚生労働省は国立がんセンターを中心とし、各都道府県にがん診療連携拠点病院の設置を進める他、2006年10月には医療者向け、患者向けの「がん対策情報センター」を開設し、「がん対策推進」を図っています。また、2007年4月からは、これらの問題解決を更に加速させる役割を持つ「がん対策基本法」も施行され、同年6月には「がん対策推進基本計画」も閣議決定され、2012年には更に現状に即した改訂がなされました。

以上のような背景により成立した「がん対策基本法」の基本理念にもある「科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること」、「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」を広く実現するためには、医療提供側・医療者のみの変革だけでなく、同時に患者が医療消費者として、信頼性の高い情報にたどり着き、情報を理解し、患者が主体的に治療を選択できる環境の構築も必要となります。

(3) がん患者・家族・国民が置かれた環境

2006年10月に「がん対策情報センター」が開設、日々情報が追加・更新され、適切な情報を届けるための環境整備は進み、がん関連学会編集による診療ガイドラインにおいては近年、学会等の努力により一般への公開が進む領域もありますが、その普及は十分とは言えません。

また、各関係団体の整備は進んできていますが、未だ認定がん治療専門医、専門看護師、薬剤師他は少ない上、患者・国民がアクセスできる相談窓口も、国家レベル・民間レベルにおいて整備が進められてはいるものの、認知・連携が不十分である場合も多く、適切なリソースそのものの不足とともに、適切なリソースへのガイド役、それをわかりやすく伝える役割の存在が不足しています。

加えて、急速なインターネットの普及により、がん患者・家族のアクセスが急増し、医療情報・がん医療情報の入手は容易になりましたが、専門知識なく一般的な検索ワードを検索エンジンに用い調べる場合、その検索結果数は数十万から数百万という膨大なものであり、それらの情報についての重み付け、信頼性の評価はほぼ不可能に近い状況とされています。

(4) がん患者・家族が直面する問題

がん患者・家族が「がん」と診断され直面する問題は、3つに大別されます。一つは、自身の治療上の決定における医療情報、各種治療の自身への影響、すなわち効果・有害事象（副作用）など体への影響、「Physicalな問題」、2つ目は「がん」という診断に対する不安、治療の効果・有害事象（副作用）などに対する不安、生活・将来への不安などの「Mentalな問題」、3つ目として、高騰化する医療費に関わる経済的な問題の他、医療制度に関する問題、すなわち「Socialな問題」です。

(5) がん対策推進の取り組み

厚生労働省は、がん診療連携拠点病院にて、種々の問題に対応する患者・国民向けの「相談支援センター」の設置を求め、各がん診療連携拠点病院では「相談支援センター」が機能するよう「相談支援センター相談員講習会」等が実施され、また、厚生労働省委託事業として、2011年度より「がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」も開始されています。

民間レベルにおいては、当法人などが実施する養成プログラムを初め複数の試みも始まり、がん患者・家族のニーズに応じた「がん医療対策」を進める上において、実際に、がん患者・家族が求め、提供されるべき医療情報・サービスを提供するために、医療者のみならず、「がん対策推進」に関する者が、「各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報」等についての知識を有する事は必要最低限の要件となると考えられています。

このような背景より、本講座では、「がん医療対策推進」に関する者（関わろうとする者）を対象に、科学的根拠に基づいた良質で、信頼性の高いがん医療情報を理解し、またその時々最新のがん医療情報にアクセスし、かつそれらの医療情報を患者の言葉に換える事のできる「がん情報ナビゲーター」の人材養成講座を開始するに至りました。

06. 開講の目的

がん患者・家族及び国民が「がん」と診断され直面する問題（主として、がん医療情報に関する問題）を、解決できるあるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる人材を養成する「がん情報ナビゲーター」は、がん医療情報に特化したものです。

本講座により「がん情報ナビゲーター」を養成・輩出し、国が掲げる「がん対策推進」に寄与し、日本における民間組織（NPO 法人）の役割を果たし、これをもってがん医療へ貢献します。

07. 受講資格

インターネット及び E-mail（携帯電話は不可）使用、E-mail による Word・PDF ファイル等添付送受信が可能な環境があり、代表的な検索エンジン（Yahoo・Google など）が使用でき、受講前に本養成講座の e ラーニング・システム注）が利用可能で、以下のいずれかに該当する者とします。

なお、事務局からの事務連絡は原則として、すべて E-mail の一斉配信で行われます。但し、Gmail、Yahoo mail 等のフリーメールをご使用の方は、事務局からの連絡が迷惑メールフォルダ、ごみ箱等に振り分けられる事例があるためご注意ください。

【必ずご確認ください！】

注) e ラーニング・システムが利用可能かどうかは、後記の URL で既にアップロードされているコンテンツが問題なく再生可能である事を必ず確認して下さい。

CNJ がん情報ビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video/>

※本養成講座では、受講者に対する個別のパソコン環境、動作環境に関する問い合わせには対応できませんので、上記の通り、受講前に必ずコンテンツが再生可能であるかどうかの確認をして下さい。以下は受講に必要なパソコン環境の情報です。

■ OS / 【Windows の場合】 2008（デスクトップ エクスペリエンスが必須）、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2003、Windows 8
【Macintosh の場合】 Mac OS X 10.5.7 以降

■ ソフトウェア / 【Windows の場合】 Internet Explorer® 7.0 以降、Firefox® 3.6 以降
Windows Media® Player 9.0 以降
【Macintosh の場合】 Safari™ 5 以降、Firefox 3.6 以降
※ Macintosh の場合 Microsoft Silverlight5 が必要です。マイクロソフトの Silverlight をインストールする必要があります。マイクロソフトのサイトからダウンロードするか、以下のキャンサーネットジャパンの URL (<http://www.cancernet.jp/video/>) よりインストールして下さい。

■ スマートフォン・タブレット / 【iPhone/iPad の場合】 iPad 全機種（iOS 4.3 以降、Safari 使用）
iPhone 4 以降、iPod Touch 第 4 世代以降
（iOS 4.3 以降、Safari 使用）

※ App Store から Mediasite アプリをダウンロードする必要があります（無料）。
また、3G 回線をお使いの場合は、アプリ内設定画面から DATA ACCESS を ON にしてからお使いください。

【Android の場合】 Android 4.0 以降（Android browser 使用）



08. 受講料（消費税込み）

	割引申込期間 (2015年7月31日まで)	通常申込期間 (2015年12月10日まで)	CIN2 回目以降・BEC既受講者
受講料	¥110,000-	¥120,000-	¥30,000-

但し、5名以上での受講申し込みの場合は、受講料の優遇制度を適応いたします。また、小児・AYA世代（15～29歳）のがん体験者は、人数限定の特別助成制度があります。該当する場合はお申込み前にNPO法人キャンサーネットジャパンまで、メールにてお問い合わせください。（メールアドレス：cinbec@cancernet.jp）

【CIN/BEC1期～10期既受講生に対する受講料特典】

既に、CIN/BEC養成講座の1期～10期を受講された方々に対する受講料特典制度です。各領域における最新情報のキャッチ・アップにご利用下さい。また、本講座を受講された方は、CIN/BEC認定継続要件（15ポイント）を満たすものとします。但しCINの6・7期は総合コース既受講生のみが対象です。

09. 申込期間

2015年5月7日（木）～12月10日（木）

前項の通り、割引申込期間（2015年7月31日まで）と、通常申込期間（2015年8月1日～12月10日まで）は、受講料が異なりますので、ご注意ください。

10. 受講の手続き

- (1) 申し込み方法
- 前項9.の申し込み期間内に、キャンサーネットジャパンのホームページよりお申し込み下さい。
ホームページ <http://www.cancernet.jp/training/cin>
-
- (2) 受講申し込み受付と受講料支払い
- 「申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ送信ください。お支払いはクレジットカード決済と銀行振込よりお選びいただけます。申込フォームへ記入されたメールアドレス宛に、手続き案内メールをお送りいたします。なお、数日経過してもメールが届かない場合は、お問い合わせください。
-
- (3) ID、パスワードの発行
- ご入金の確認次第、eラーニング・システムを受講頂くための「受講ID」と「パスワード」をメールにてご連絡いたします。なお、システム上、入金確認に数日かかる場合がございますのでご了承ください。
-
- (4) 受講開始
- 後述する受講方法に基づき、受講を開始して下さい。

11. 受講の方法

(1) 受講環境の準備

パソコンをインターネットに接続し、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://cancernet.jp/training/cin>

(2) 「CIN 受講生専用 視聴ページ」をクリック



<http://www.cancernet.jp/training/cin> の画面上に表示される「CIN 受講生専用視聴ページ」のバナーをクリックして下さい。受講ログイン画面へ進みます。ログイン画面では、「ユーザー名」と「パスワード」が求められます。「ユーザー名」には、事前にお知らせする「受講者アカウント」を、「パスワード」には「受講者パスワード」を入力します。「ユーザー名」、「パスワード」を入力完了後、「ログインボタン」をクリックして下さい。講義視聴画面が表示されます。

(3) 講義資料 (PDF) の ダウンロード

- ①はじめに講義視聴画面の各講義の「Links」をクリックして講義資料のタイトルを表示させて下さい。
- ②講義資料のタイトルをクリックすると「ユーザー名」と「パスワード」の入力画面が表示されます。
- ③講義資料のタイトル下（または横）に記載されている講義資料ダウンロード用の「ユーザー名」と「パスワード」を入力して下さい。PDF データが表示されます。

(4) 講義の視聴

講義視聴画面の講義名のタイトルをクリックし、視聴を開始して下さい。

12. 修了要件

本講座の修了要件は、オリエンテーションを含む全 20 講義の受講（視聴）とします。本条件を満たす受講生には、修了証を発行します。なお、講義視聴履歴の管理、及び責任は受講者各自に委ねられます。

13. 認定試験概要

この認定試験は、NPO 法人がんネットワークジャパンが実施する「がん情報ナビゲーター認定試験」です。

がん情報ナビゲーターに求められる能力は、「がん患者・家族及び国民が「がん」と診断され直面する様々な問題を解決できる、あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる人材」とします。

本試験は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力を確認する試験です。インターネット環境で、ご自宅での受験が可能です。

■認定試験の案内／	認定試験の実施要綱を12月末頃に、連絡用メールアドレスへお知らせします。
■受験資格／	20科目の講義を2016年1月末日までに視聴予定の方(受験は任意です)
■試験申込期間／	2016年1月7日(木)～1月28日(木)
■試験日／	2016年2月6日(土)～2月7日(日)
■受験料／	受講料に含まれているため11期受講者は不要です。 なお、10期以前の受講者は別途受験料を申し受けます。
■合否判定／	本試験の合否基準は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力のみであり、受験者間での相対評価、事前の合格者数の設定は行なっていません。また、合否に関する個別の問い合わせ、合否基準に関する問い合わせには対応致しません。
■認定証／	認定試験合格者には、がん情報ナビゲーター認定証を発行致します。なお、未受験者と認定試験不合格で再受験を希望する場合は、次クール(12期)以降の受験が可能です。 合否発表は、2016年3月1日(火)を予定しています。

14. 認定の継続要件等

認定者のうち希望する方は、NPO法人キャンサーネットジャパン事務局内「BEC/CIN 認定継続フォローアップ委員会」に登録頂きます。登録時より3年間の管理登録料として、登録時に15,000円を申し受けます。

当委員会は、認定者の認定継続と質の管理、フォローアップのための研修・情報発信等を行います。認定は3年間の更新制となり、下記、＜認定継続に必要なポイントの内容について＞に定める認定継続要件である15ポイント以上の活動を必須とします。認定者の継続学習や認定継続に関する窓口は、全てこの委員会が行います。

4年目以降の認定継続についても、上記と同様の条件にて3年毎の更新とします。更新時には15,000円の更新料を申し受けます。

＜認定継続に必要なポイントの内容について＞

認定を更新するための条件である更新ポイントは15ポイントです。(以下ポイントをPと略す)

1. 継続学習の機会への参加

* CNJが主催・共催・後援するイベント 2P

* CNJが認めるがん関連学会 3P

* 科学的根拠に基づき、情報発信しているセミナー・シンポジウムへの参加 1P

(ご報告内容に基づき、ポイント対象から除外させていただく場合もありますので、ご不明な場合は事前にお問い合わせ下さい。)

2. 相談活動に従事 3P

3. 講演等の啓発活動 3P

4. 啓発・支援活動の企画・実施 2P

5. CIN/BEC 養成講座受講 15P

なお、更新に必要なポイントとして、CNJのビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video> の視聴も1Pとなります。

15. 認定後の活動について

本養成講座を受講され、修了・認定された方々は、ご自身の仕事の中で、またはボランティア活動や患者会活動において、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。

更に、NPO 法人キャンサーネットジャパンが企画・運営する各種セミナー・プログラム(「CNJ がん情報ステーション」、 「CNJ がん医療セミナー」、 「外部研修プログラム」 など)、 また、 病院内外でのピアサポーターとして活躍されているほか、民間企業、自治体等によるがん医療啓発活動での講演などでも活躍されています。ただし、本講座では認定後の職業の保証はいたしません。



Facebook CNJ 養成講座コミュニティ開設

CIN Cancer
Information
Navigator

がん情報ナビゲーター養成講座

友達、スポット等を検索



↑ **CIN** と入力して検索

<http://www.facebook.com/cnj.cin/>

Breast cancer
Experienced
Coordinator
BEC

乳がん体験者コーディネーター養成講座

友達、スポット等を検索



↑ **BEC** と入力して検索

<http://www.facebook.com/cnj.bec/>

CSS Cancer
Survivor
Speaker

がん体験者スピーカー養成講座

あなたの貴重な体験談を効果的に伝え、
がん啓発に貢献しませんか？

くわしくは

<http://www.cancernet.jp/traning/speaker>

CNJ のもっとわかる出版物のはなし
<http://www.cancernet.jp/publish>
無料でダウンロードできます！

CancerChannel

患者・家族・支援者・医療者のための
新しいがん医療情報のカタチ。

映像×SNS
サイトの閲覧はすべて **無料**

がん医療セミナーやがん医療情報の映像を web* から配信。
スマートフォンやタブレットからも閲覧できます。(Ustream・Youtube mediasite)

*スマートフォンやタブレットからのUstream、Youtube閲覧には専用のアプリのインストールが必要です。

<http://www.cancerchannel.jp>

第11期生がん情報ナビゲーター養成講座カリキュラム

※担当講師は変更される場合があります。変更の際はホームページ等で案内致します※

講義	公開日時	講義時間	科目	11期担当講師
0	7月9日 (木)	60	CIN養成講座オリエンテーション 医療情報の収集方法	柳澤 昭浩 (キャンサーネットジャパン)
1		60	統計と臨床試験、EBM、診療ガイドライン	後藤 悌 (国立がん研究センター)
2		60	がん検診の目的とあるべき姿	齋藤 博 (国立がん研究センター)
3	7月23日 (木)	60	がんの補完代替医療・健康食品	大野 智 (帝京大学)
4		60	がん治療薬の分類・作用・副作用など	藤原 豊 (国立がん研究センター)
5	8月6日 (木)	60	放射線治療の適応・作用・副作用など	西村 恭昌 (近畿大学医学部附属病院)
6		60	疼痛コントロールと緩和ケア	田中 桂子 (都立駒込病院)
7	8月20日 (木)	60	上部消化器がんの疫学・診断・治療の実際	吉田 和弘 (岐阜大学医学部附属病院)
8		60	下部消化器がんの疫学・診断・治療の実際	室 圭 (愛知県がんセンター)
9	9月3日 (木)	60	肝臓がんの疫学・診断・治療の実際	國土 典宏 (東京大学医学部附属病院)
10		60	膵臓がん・胆管がんの疫学・診断・治療の実際	古瀬 純司 (杏林大学)
11	9月17日 (木)	60	肺がんの疫学・診断・治療の実際	光富 徹哉 (近畿大学医学部附属病院)
12		60	乳がんの疫学・診断・治療の実際	中村 清吾 (昭和大学医学部附属病院)
13	10月1日 (木)	60	婦人科がんの疫学・診断・治療の実際	小西 郁生 (京都大学)
14		60	泌尿器がんの疫学・診断・治療の実際	赤倉 功一郎 (JCHO東京新宿メディカルセンター)
15	10月15日 (木)	60	頭頸部がんの疫学・診断・治療の実際	清田 尚臣 (神戸大学)
16		60	血液がんの疫学・診断・治療の実際	照井 康仁 (がん研有明病院)
17	10月29日 (木)	60	小児がんの疫学・診断・治療の実際	原 純一 (大阪市立総合医療センター)
18		60	がん患者のための在宅医療	武藤 真祐 (祐ホームクリニック)
19	11月12日 (木)	60	がん患者の看護	田村 恵子 (京都大学)
20		60	CIN養成講座総括講義 がん診療の現状と今後の展望	西條 長宏 (日本臨床腫瘍学会事務局)

第11期生がん情報ナビゲーター養成講座スケジュール

